ふれあいネットワーク 伊賀市社協だより

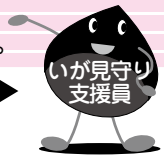
あいしあおう

やま まがはら おやまだ が おやま えの

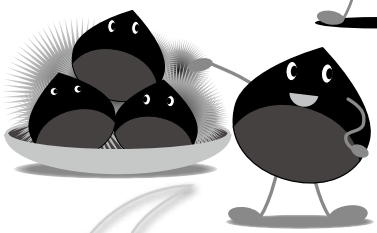
市民ふくし大学講座

◇この講習会は、市民ふくし大学講座 基礎講座です。
専門講座を終了すると、いが見守り支援員として認定されます。

基礎講座 ＋ 専門講座 ▶



いが見守り支援員 養成公開講座



どなたでも受講いただけます。
見守り支援員になるためには、専門講座（２０時間程度）の受講が必要です。

サロンから考えあう、伊賀流見守り

地域で支え合うミライ

人は減る、お金はない・・・・けれども、伊賀にはステキなサロンを続けてこられた「想い」がある！そして、それを支える地域福祉コーディネーターもいる！

平成２８年度より、第３次伊賀市地域福祉計画および、第３次伊賀市地域福祉活動計画がスタートしました。このたび、第２次伊賀市地域福祉計画推進委員長の板井正斉氏より、伊賀における地域福祉活動の強みから、わたしたちのまちのミライを考え合う機会として、ご講演いただきます。ぜひ、ご参加ください。

●講師プロフィール●

1973 年生まれ。皇學館大学社会福祉学部・現代日本社会学部准教授を経て、現在、教育開発センター准教授・副センター長（COC 担当）。第 2 次伊賀市地域福祉計画推進委員長、NPO 法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター理事・専門員。人と人の現代的なつながり方に伝統的な価値観がどのような影響を与えているのかなどに関心を寄せている。

とき／平成28年10月1日(土)
13:30～16:00
ところ／あやま文化センター さんさんホール
（伊賀市川合 3370-29 ☎43-1125）

内容／◇市民ふくし大学講座見守り支援員ガイダンス
◇講演 **サロンから考え合う伊賀流見守り「地域で支え合うミライ」**
講師／皇學館大学 教育開発センター准教授・副センター長 板井 正斉氏

No.130
8月号
平成28年8月15日発行

■ 問い合わせ先　伊賀市社会福祉協議会　☎21-5866・FAX26-0002

おしえて★地域のふくし

その③「地域福祉ネットワーク会議って何だぐり？」の巻

ぼく、三重県伊賀市の観光大使、いが☆グリオだぐりよ♪
伊賀市に住んでいる小学校３年生として、だいすきな伊賀のふくしのこと、もっと知りたいぐりっ☆

伊賀市では、平成２８年度から５年間を計画期間とした、第３次伊賀市地域福祉計画がスタートしました。伊賀市社協では、本計画の中の「みんなでつくる地域福祉コミュニティ」の部分を地域福祉活動計画として推進します。今回は、重要視されている一つのしくみ、「地域福祉ネットワーク会議」を紹介します。

今月お答えするのは
いがまち地域センターの宮嵜美政です。
私がいが☆グリオさんの質問にお答えします！！

伊賀市地域福祉活動計画で推進している、「地域福祉ネットワーク会議」について知りたいぐりっ。

地域には、公的な制度では対応できない日常生活上の多様なニーズがありますよね。そのような中、地域の生活課題やニーズを把握・共有し、地域全体で支えるしくみをつくっていくことが求められています。そこで、課題解決に向け検討する場として、住民自治協議会を単位とした「地域福祉ネットワーク会議」を、2018（平成 30）年度までに全ての住民自治協議会に設置できるよう、社協が立ち上げ支援を行います。

★伊賀市内「地域福祉ネットワーク会議」設置地区（平成28年7月現在）
上野西部、上野南部、小田、新居、諏訪、府中、友生、猪田、比自岐、神戸、古山、柘植、島ヶ原、山田、布引、阿波、博要、高尾、矢持、桐ヶ丘（20 地区）

ひとりでは解決できないことを、地域で話し合う場なんだぐりね。どんな人が集まるぐり？

はい。「地域福祉ネットワーク会議」の構成メンバーとしては、住民自治協議会、自治会、地域企業、民生委員児童委員、福祉サービス事業所、地区市民センター、ボランティア、社会福祉協議会など、さまざまなメンバーが考えられます。地域の実情や検討の内容に応じて、柔軟に対応できるのが理想ですね。
また、地域によっては、自治会や区単位など身近な範囲を単位とした、「地域会議」の設置を支援します。「地域会議」は、地域支援を必要とする人へのきめ細かな見守りネットワークに取り組んだり、自治会単位の福祉課題を「地域福祉ネットワーク会議」に対して問題提起したりする機能を果たすのですよ。

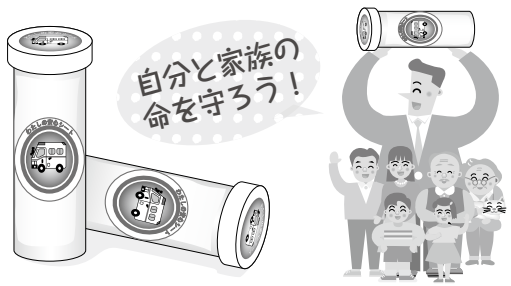
地域福祉ネットワーク会議（住民自治協議会単位）
地域会議　地域会議　地域会議　地域会議（自治会・区単位）

ナルホド。いろんな人が集まって、知恵を出し合って解決に結びつけるんだぐりね。地域福祉ネットワーク会議では、実際どんなことが話し合われているぐりっ？

ある地域では、交通弱者に対する買い物支援バスの運行や、認知症高齢者に対する生活支援について話し合われるなど、テーマは地域の課題に応じて様々です。また、住民自治協議会を単位とした、アンケート調査の結果で把握した課題も、重要なデータとして活用されます。
地域の課題は、そのままにしておいては解決に至りません。10 年、20 年後を見据えて、「地域福祉ネットワーク会議」を十分に機能させることが重要です。
設置準備中の地域には、地域福祉コーディネーターが設置を支援しますので、機能する「地域福祉ネットワーク会議」づくりを目指しましょう。

自分が困っていることは、みんなが困っていることかもしれないぐりね。ひとりの課題としてとどまらせず、地域の課題として考える場って、これまでにありそうでなかったかもぐりっ。地域で対話できる場をつくっていくことが、住みやすいまちづくりの一歩になりそうだぐりよ★

「わたしの安心シート」の更新をお願いします。



伊賀市社会福祉協議会では、緊急時や災害時の安心・安全への備えとして、「わたしの安心シート」配布事業を、地域の協力を得て実施しています。

「わたしの安心シート」とは？

あなたの医療情報をまとめ、容器に入れて冷蔵庫に保管し、万一の救急時に備えるものです。

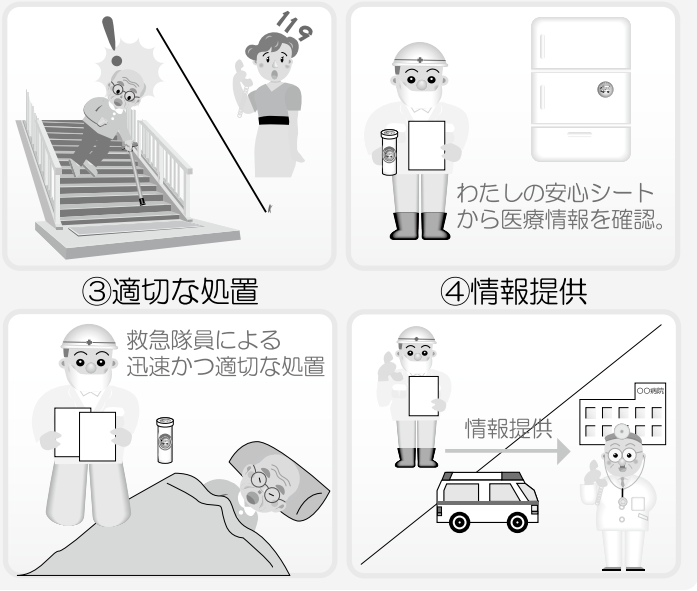
★現在、住民自治協議会や自治会・区を通して、更新シート配布に協力をお願いしています。

プラスチックの筒の中のシートを新しいシートに書き換え、冷蔵庫のドアポケットに筒ごと保管してください。

※シートに保険証番号の欄を追加しました。

■お問い合わせ
社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会
伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階
☎ 21-5866　FAX26-0002

救急情報の活用イメージ図



更新シートの作成は、社協会費事業により実施しています。

上野総合市民病院より

『がんと闘うための栄養を含めたトータル・サポート入院プログラムの紹介』

伊賀市立上野総合市民病院
外科・腫瘍内科医長　奥川（おくがわ）喜永（よしなが）

この十年でがんに対する治療法は、新規抗がん剤の開発により、飛躍的な進歩を遂げておりますが、それにともない、抗がん剤を継続して行い、続けるための支持療法の重要性が注目されております。とりわけ、抗がん剤治療中の患者さまの多くは副作用の影響を受け、栄養状態の低下を招きやすくなります。栄養状態の低下は生活の質が損なわれるだけでなく、適切な治療を受けられなくなる場合もあります。

また、これまでに当院で抗がん剤治療を受けられた患者様の蓄積したデータを解析したところ、栄養サポートを行ったがん患者様において、抗がん剤治療中でも筋肉量の低下を防ぎ、抗がん剤治療の継続性を改善し、さらにはがんに伴う生存期間を延長する可能性が考えられました。

このデータに基づいて、当院では5階地域集学治療センターにおいて、抗がん剤治療中の患者さんのための栄養サポート入院プログラムを行っております。入院中は消化器に精通した腫瘍内科の医師が担当し、がん化学療法認定看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、地域医療連携室のスタッフチームが治療をサポートします。基本は4泊5日の入院プログラムとなりますが、退院後も引き続き外来で、栄養指導や定期的な栄養状態の評価を含めたフォローをさせていただきます。

教育入院プログラム

1日目	がん関連項目問診（医師） 身体計測・栄養問診・QOL（管理栄養士）
	栄養療法の検討
2日目	服薬指導（薬剤師） 食事調査（管理栄養士）
3日目	食事栄養指導（管理栄養士） 日常生活注意点（看護師）
4日目	抗がん治療とリハビリ・運動（理学療法士） MSW
5日目	（アンケート） 【退院】
	外来フォロー（外来診察＋外来栄養相談） / 必要に応じ訪問看護

外来での診察の際は、栄養指導をセットでお受けいただき、身体計測、食事量など定期的なチェックを行うことで、患者さんお一人お一人の抗がん剤治療の効果を最大限引き出し、副作用を最小限になるよう、栄養療法や支持療法を行わせていただきます。ご興味のある方はぜひ、当院までご連絡ください。

伊賀市立上野総合市民病院
☎0595（24）1111
FAX0595（24）2268

市民ふくし大学講座

◇生活支援員養成研修は、
市民ふくし大学講座 専門講座として認定されます。

基礎講座 ＋ 専門講座 ▶ いが見守り支援員

生活支援員 養成研修

定員30名 受講料無料

● 伊賀地域では４人に１人が高齢者で、今後認知症や障がい者の地域移行等で、意思判断能力が不十分な人が増えていくことが予想されます。

　また、少子化、核家族化で、これまで家族で担ってきた役割を期待しにくくなっています。認知症や障がいがあっても地域で安心して暮らしていくことができるよう、**福祉サービスの利用援助・金銭管理・書類預かりを行う「日常生活自立支援事業」**や、本人の財産管理や日常生活に必要な契約を適切に行うための「成年後見制度」がありますが、まだまだ知られていないのが現状です。

　そこで、「日常生活自立支援事業」についてもっと知っていただき、その活動の担い手となるための研修を開催します。ぜひ、ご参加ください。

地域での暮らしの 不安 を 安心 に・・・

日　時	場所	内　容	講　師
10月5日(水) 13：30～13：50 14：00～15：20 15：30～16：30	大山田福祉センター	【開会・オリエンテーション】 【研修１】権利擁護と地域福祉 【研修２】日常生活自立支援事業について	いが日常生活自立支援センター いが日常生活自立支援センター 生間慎二郎 いが日常生活自立支援センター 福井みずほ
10月18日（火） 13：30～15：00 15：10～16：40	阿山保健福祉センター	【研修３】医学の基礎知識 【研修４】利用者との接し方のポイント	三重大学大学院医学系研究科 木田 博隆氏 いが日常生活自立支援センター　橋本美智子
11月2日（水） 13：30～14：20 14：30～16：20	大山田福祉センター	【研修５】認知症者への支援 【研修６】知的障がい者･精神障がい者への支援	伊賀市地域包括支援センター 服部 恵子氏 伊賀市障がい者相談支援センター市川 光智氏 加藤 雅巳氏 松村 健吾氏
11月16日（水） 13：30～14：50 15：00～15：30 15：30～15：50	大山田福祉センター	【研修７】成年後見制度について 【研修８】生活支援員 活動の実際 【修了式・登録ガイダンス】	伊賀地域福祉後見サポートセンター市川 しのぶ 活動中の生活支援員 いが日常生活自立支援センター

●会場／大山田福祉センター（平田 656 番地の 1☎47-0780）・阿山保健福祉センター（馬場 1128 番地の 1☎43-1854）

◆対象者◆
①研修の全日程に参加可能な方②伊賀市に在住在勤で、今後、地域の福祉に貢献しようとお考えの方③会場まで自力で来られる方

◆修了要件◆
全日程の出席
※３講座までの欠席は、その都度補講を受けてレポートを提出すれば、出席とみなします)。
修了者には修了書を交付します。
※遅刻・早退は１０分以内とし、１０分を超えた場合は欠席扱いとなります。

◆補講◆
補講は３講座まで受講可。補講は、研修会を録画したビデオで受講し、１講座につき 800～1000字のレポートを提出すれば出席扱いとします。

◆登録◆
生活支援員養成研修を修了後、生活支援員登録簿に登録できます。ただし、活動については、希望に添えないことがあります。※生活支援員として採用する年齢の上限は７０歳までで、定年は７５歳とします。

◆その他◆
生活支援員養成研修を修了すると、後日、伊賀地域福祉後見サポートセンター主催で開催予定の福祉後見人養成研修の受講資格が得られます。

◆申込方法◆
申込用紙に必要事項を記入し､平成２８年９月１６日（金）までに、伊賀市社会福祉協議会に、お申し込みください。(郵送・FAX 可)。
申し込み用紙は、社協各地域センター窓口に設置のほか、伊賀市社協ホームページからダウンロードできます。
▶http:/www.hanzou.or.jp/

◆申込・問い合わせ先◆
いが日常生活自立支援センター ☎21-9970
〒518-0869 伊賀市上野中町 2976-1
上野ふれあいプラザ３階

日常生活自立支援事業って？

- 福祉サービスの利用方法がわからない 役所などの手続きがうまくできない
- お金を持つとすぐに使い果たしてしまう 通帳などの重要物をすぐなくしてしまう

こんな悩みを持つ高齢者、知的・精神障がいのある方、判断能力に不安のある方をお手伝いします。

●福祉サービスの利用援助●日常的金銭管理●書類等預かりのサービス いが日常生活自立支援センター☎21-9970

市民ふくし大学講座

◇この講習会は、市民ふくし大学講座 専門講座として認定されます。

基礎講座 ＋ 専門講座 ▶ いが見守り支援員

地域介護サポーター養成講座 入門編 第5期

■介護の基本的な知識・技術を身につけることにより、見守り支援活動やふれあい・いきいきサロンなど身近な地域での助け合い活動を促進し、地域の介護力を高めることを目的に開催します。

定員15名

受講料無料

	■日時	■内容	■講師
❶	平成28年 9月23日(金) 13:25～15:15	開講式・ちょっと困ったときの日常生活の介助方法 ～医療・福祉のプロから学ぼう～	岡波総合病院 介護老人保健施設おかなみ 介護老人保健施設第2おかなみ 介護老人保健施設伊賀ゆめが丘
❷	10月3日(月) 13:25～15:15	身近な地域で支えあおう! 災害時の要援護者支援	日本赤十字社三重県支部 看護師　富内 直美さん
❸	10月7日(金) 13:25～15:15	来て、見て、さわって!! 福祉用具あれこれ	伊賀白鳳高校 ヒューマンサービス科
❹	10月28日(金) 13:25～15:15	あなたにも救える命があります AEDのABC(救急入門コース)	伊賀市消防本部
❺	11月4日(金) 13:25～15:15	ふくしのしごとって何? ～私たちが地域でできること～	日本福祉大学社会福祉学部 教授　原田 正樹先生
❻	11月11日(金) 13:25～15:15	Let's ride 車いす!! 移動時の介助方法を学ぼう	伊賀白鳳高校 ヒューマンサービス科
❼	11月18日(金) 13:25～15:15	心と心のコミュニケーション お話を聴く心構え・修了式	伊賀白鳳高校 ヒューマンサービス科

※第1回と第5回は、三重県福祉人材センター「平成28年度　福祉・介護の魅力発信事業」として開催します。

●会場／
伊賀白鳳高校 第6実習棟

●受講対象／一般15名
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科生徒 約20名

●申込方法
9月16日(金)までに伊賀市社会福祉協議会本部まで、申込書または、お電話・FAXにてお申し込みください。定員になり次第締め切ります。申し込み用紙は社協ホームページよりダウンロードも可。

●修了証／7回講座中、5回以上受講された方には修了証を授与します。欠席の場合は、オプション講座を受講することで、出席とみなします。

○実施主体／伊賀市社会福祉協議会
○共催／三重県立伊賀白鳳高校・三重県社会福祉協議会三重県福祉人材センター

申込・問い合わせ先　社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会
伊賀市上野中町 2976-1 上野ふれあいプラザ3階　☎21-5866　FAX26-0002

不要貴金属寄付にご協力ください！

伊賀市社協では、不要になった貴金属のご寄付を募り、換金して赤い羽根共同募金に寄付させていただきます。
特に申し出がない限り、住所・氏名等はお聞き致しませんので、ご了承ください。

1個で約2,500円。使わなくなった入れ歯が生きる！

入れ歯リサイクル事業

入れ歯には金属のクラスプ（歯にかけるバネ）がついていますが、そのクラスプには貴重な貴金属が含まれています。（クラウン、インレー、ブリッジも同様）この金属をリサイクルすることにより、資源として生まれ変わり、その益金で、地域福祉活動に役立てることができます。一つひとつでは再製のコストの方が高くなってしまいますが、たくさん集まると大きな援助になるのです。

また、地球環境保護の観点からも、希少鉱石を採掘するコストより、リサイクルするコストのほうが安くすみ、地球温暖化防止にもつながります。

回収ボックス　▶伊賀市役所本庁・各支所、伊賀市社協本部・各地域センター、伊賀市市民活動支援センターに設置しています。

郵送　▶〒518-0869 伊賀市上野中町 2976-1 上野ふれあいプラザ３階「伊賀市社会福祉協議会 入れ歯リサイクル係」まで、入れ歯をビニール袋に入れ、大きめの封筒に入れてお送りください。

たんすに眠っている貴金属が、地域福祉の充実に！

貴金属リサイクル事業

例えば、指輪やネックレス、イヤリング等の宝飾品には金・銀・プラチナが含まれています。ダイヤモンドやルビー等の宝石は別途鑑定して換金いたします。他にも、金時計や金メガネ、工芸品なども回収いたします。回収の際は、偽物と本物の鑑定はいたしませんので、偽物とわかっていても回収させていただきます。あくまでも、不要な貴金属を回収対象としていますので、形見の品物や思い出の品物は大切に保管しておいてください。片方だけのピアスや、切れたネックレス、壊れた金時計、曲がった金メガネ等で結構です。

回収ボックス　▶伊賀市社協本部・各地域センター窓口に設置しています。※警備の関係上、伊賀市役所等には回収ボックスは設置していません。

郵送　▶〒518-0869 伊賀市上野中町 2976-1 上野ふれあいプラザ３階「伊賀市社会福祉協議会 不要貴金属リサイクル係」まで、品物を袋または箱に入れ、大きめの封筒に入れてお送りください。

この事業は、共同募金配分事業の一部助成により実施します。

ふくしでつながるプロジェクト 発信

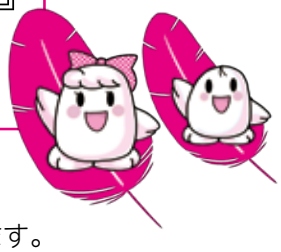
しあわせ募金箱

福祉啓発事業の一つとして、地域住民等が、ふくしの大切さやすばらしさについて考えること、また、『ふくし』を身近に感じるきっかけ作りの場を提供するために作品を募集します。

テーマ

『赤い羽根共同募金活動を盛り上げる募金箱』

作品のどこかに赤い羽根のデザインを入れること
未発表のもので、ひとり1点までの応募とします。



◆応募資格　伊賀市内にお住い又は勤務・在学されている方。
伊賀市内での共同募金活動時に募金箱として使用します。
応募された作品は、伊賀市社会福祉協議会各地域センターで展示致します。
◆締め切り　平成28年9月9日(金)【当日必着】
◆応募方法　応募用紙に必要事項を記入し、作品に添えて、伊賀市社協各地域センターまでお届けください。
◆記 念 品　特選作品1点・入選作品5点を選定します。
特選・入選作品には、記念品を差しあげます。応募者全員に、参加賞を進呈します。
◆応募・問い合わせ先　伊賀市社会福祉協議会 各地域センター

若者の、職業的自立のための総合相談窓口

いが若者サポートステーション

厚生労働省委託事業

仲間と一緒に就職活動を始めてみませんか？ 若者のための就職応援プログラム ホンキの就職

協力／リクルートホールディングス

「仲間と協力して、「探す」「動く」「伝える」ことに取り組む。

1日目 得意なことを発見する
2日目 就職することについて、多くの視点をもつ
3日目 自己PRを伝える　4日目 自分を伝える

◆開催日／9月6日(火)・9日(金)・13日(火)・16日(金)
◆時間／12:30～17:00 ◆場所／上野ふれあいプラザ3階
◆定員／8名（3名以上の参加で開催）

サポステプログラムI 参加者募集!!

スポーツ・音楽・調理・ゲームなどをとおしてコミュニケーションをとり、「みんなで取り組む」ことをめざすグループワークです。

◆毎週木曜日 10:00～12:00
(調理実習時のみ14:00まで)

☆キャリアコンサルタント等が、就職のための専門的な相談をしています。※要予約
開所日 月～金　8:30～17:15
(土・日・祝、年末年始は休み)
相談無料
22-0039

初めての方でも安心です。仕事に活かせる「初級パソコン講座」

※いずれも無料・要予約
(いが若者サポートステーションへの登録が必要です。)

対象／15～39歳までの、求職中で、就労・就学していない方。1分間に100キータッチ程度入力できる方。
定員／各講座5名(面接の上、決定します。)
場所／上野ふれあいプラザ3階（全講座）

◆ パソコン入門講座
内容／パソコンの基本操作から基礎知識など、一から学ぶ。
開催日時／9月5日（月）10:00～16:00（5時間）

◆ ワード・エクセル・パワーポイント講座
内容／Word・Excel・PowerPoint等、パソコンスキルの基本から、仕事に必要な技術までを習得する。
開催日／9月7日（水）・9日（金）・12日（月）・14日(水)
時間／10:00～16:00（計20時間）

◆ エクセル活用講座
内容／エクセル機能を効果的に活用するために、便利な関数やピボットテーブルを学ぶ。
開催日／9月16日(金)　時間／10:00～16:00(5時間)

◆ プログラミング講座
内容／楽しみながらプログラミングを体験し、基礎を学ぶ。
開催日／9月20日（火）・23日（金）・26日（月）28日（水）30日（金）　時間／10:00～16:00（計25時間）

問い合わせ申込
若者の、職業的自立のための総合相談窓口
いが若者サポートステーション
伊賀市上野中町2976-1上野ふれあいプラザ3階 ☎0595-22-0039
FAX 0595-26-0002 メール iga-saposute@hanzou.or.jp

ボランティア・市民活動NEWS

第10回 伊賀市障がい者スポーツ大会参加者募集

障がいをもつ方々が運動を通して体力と健康の増進を図り、自立と社会参加の推進を目的としたスポーツ大会を開催します。ぜひご参加ください。

【日時】**9月10日（土）午前10時～午後3時**
【場所】ゆめドームうえの　第1競技場
【競技内容】大まり送り・車いす競走・スプーンレース・玉入れなど
【参加要件】
①市内に居住する身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方（18歳未満の個人参加は保護者同伴）
②市内の福祉施設を利用し、施設から参加する障がい者
③①②の家族及び介護者など
【申込期限】8月26日（金）
【申込方法】団体などに所属または福祉施設利用の方は、団体または施設を通じて申し込んでください。
【申込・問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会本部　☎21-5866

福祉・介護の就職フェア（第2回）のご案内

福祉・介護の仕事をお探しの方を対象に、就活応援セミナーと就職相談会を開催します。

【日時】**9月25日（日）**
10時30分～12時「就活応援セミナー」
13時～15時30分「福祉・介護の就職フェア」
【会場】就活応援セミナー→アスト津4階研修室A（津市羽所町700）
福祉・介護の就職フェア→ホテルグリーンパーク津6階（津市羽所町700）
【対象】福祉・介護の職場に就職希望、または関心のある一般・学生
※託児室あり（予約制　9月20日締切）
【申込・問い合わせ先】
三重県社会福祉協議会
三重県福祉人材センター
☎059（227）5160

地域・家族介護教室のご案内

介護についての疑問や介護のしかたを学ぶ「地域・家族介護教室」を開催いたしますので、地域の皆様もぜひご参加ください。

第1回
【日時】**9月28日（水）午後1時30分～3時**
【場所】島ヶ原老人福祉センター「清流」
【内容】嚥下困難者への食事提供
【講師】特別養護老人ホーム福寿園職員
【定員】20名【参加費】無料

第2回
【日時】**10月12日（水）午後1時30分～3時**
【場所】阿山保健福祉センター
【内容】認知症について（予防対応など）
【講師】特別養護老人ホームぬくもり園生活相談員
【定員】20名【参加費】無料

第3回
【日時】**10月26日（水）午後1時30分～3時**
【場所】大山田福祉センター
【内容】車いす移動など介護方法について
【講師】特別養護老人ホーム鶴寿園
【定員】20名【参加費】無料

第4回
【日時】**11月16日（水）午後1時30分～3時**
【場所】青山福祉センター
【内容】口腔ケア・食事について
【講師】特別養護老人ホーム森の里
管理栄養士他
【定員】20名【参加費】無料

第5回
【日時】**11月30日（水）午後1時30分～3時**
【場所】上野ふれあいプラザ3階
【内容】認知症予防について
【講師】特別養護老人ホーム彩四季
看護師他
【定員】20名【参加費】無料

第6回
【日時】**12月7日（水）午後1時30分～3時**
【場所】いがまち保健福祉センター愛の里
【内容】高齢者に多い病気
【講師】特別養護老人ホームいがの里
介護福祉士他
【定員】20名【参加費】無料
【申込方法】お近くの社協地域センターに、各教室の開催日の一週間前までにお申し込みください。
【申込・問い合わせ先】伊賀市社協
本部・上野地域センター☎21-5866
いがまち地域センター☎45-1012
島ケ原地域センター☎59-3132
阿山地域センター☎43-1854
大山田地域センター☎47-0780
青山地域センター☎52-2999

第16回阿山チャリティカラオケ報告

7月10日に開催した第16回阿山チャリティカラオケ参加者から5万円のチャリティ募金が寄せられました。阿山地域センター管内の地域福祉事業に活用させていただきます。

伊賀市共同募金委員会公募委員募集

三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会では、共同募金運動の目的達成のため、公募委員を募集いたします。

【内容】共同募金活動の企画、実施、啓発、配分調整、歳末助け合い募金の推進等について、市民の立場から検討していただきます。
【応募資格】市内在住の20歳以上の方
ただし自治会長等の地域団体役員、民生委員児童委員、社協職員でない方
【募集人数】2名程度
【任期】平成28年9月～29年6月
【報酬】なし
【開催回数】年に3回程度
【応募方法】所定の応募用紙に必要事項と、応募動機を記入し、8月31日（水）までに、伊賀市社協本部までご提出ください。伊賀市共同募金委員会運営委員により選考し、通知します。

数字で見る伊賀市の福祉

平成２８年６月３０日現在(前月比)

伊賀市の人口	９４，１６５(−7人)
65歳以上の高齢者	２９，１４８人(＋６人)
高齢化率	３１．０％(±0.0%)
介護保険認定者数(施設・在宅)	６，１８６人(−２人)
ボランティア活動保険加入者数	２，８８１人(＋340人)
ホームページアクセス数	１１，０４９(−450件)

※集計処理の関係で前月末日時点の数値です。
※伊賀市の人口は外国人登録者を含めた数です。
※ 65 歳以上の高齢者及び高齢化率には外国人登録者も含まれています。
※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。
※ボランティア活動保険加入者数は平成 28 年４月１日以降の加入者延人数です。
※ホームページアクセス数は、カウンタ数値ではなく１ヶ月間の訪問者実数を解析し掲載しています。

あなたのまちのふれあい・いきいきサロン（118）

ワンコインカフェ 御辺出のステキな仲間たち

メンバー数／２０名程度
開催場所／御辺出公民館（中庵寺）
開催頻度／毎月第２土曜日

古山菖蒲池地区には４つの小場があり、そのうち３つにサロンが立ち上がっていましたが、御辺出は空白地となっていました。前々から、「地域の方々が集まれる場所があれば、高齢者の見守り活動もできる」と考えていた民生委員の尾﨑さんがカフェ方式を知り、「お孫さん、働き盛りの方も大歓迎です」「畑から長グツをはいたまま来てください」と手作りのチラシで呼びかけ、本年１月９日（土）に第１回目のカフェを開催しました。

広い年齢層が集まって「コーヒーちょうだい。」とまずは好きな飲み物を頼み、お茶菓子を受け取ります。おしゃべりを楽しんだり、将棋やオセロゲームなどをしたり、思い思いに時間を過ごされ、ボランティア仲間も集まりました。

開催のお知らせは、地域の皆さんの目にとまるようにごみ収集場にチラシを掲示し、さらに声かけもしています。「空いた時間に、ちょっといこ！」「あの人の顔が見たいわ」そんなゆるやかな場が、少しずつ定着し始めています。

我ら！ふくしレンジャー No.127

柘植（つげ） 美智代（みちよ）さん(74歳)
いがまち在住
柘植地域まちづくり協議会
健康福祉部会長

●活動を始めたきっかけ

平成 23 年から 25 年まで民生委員の活動とともに柘植地域まちづくり協議会健康福祉部員として福祉のことを勉強させていただいたことがきっかけです。

●活動内容

健康福祉部会では、毎月定例会を開催し、健康づくり推進事業では、男の料理教室、ウオーキング等、健康の駅長を中心に行っています。念願の地域福祉ネットワーク会議「つげふくしネット」を関係者の皆様のご支援のもと６月に設立することができました。地域課題の解決のためにも、公的機関とも協働して意義ある会に充実発展していきます。

●今後の抱負

「つげふくしネット」を核に「いつまでも柘植に住み続けられる里づくり」のために、柘植全地区に各区単位で見守り地域会議のネットワークを組織し、いつでも誰でも集える常設サロンやサロンカフェを作りたいと思っています。

編集後記

今年の夏は猛暑だと言われていますが、今年になって未だに台風が一つも日本列島に近づいてきていないって不気味ですね。全国各地では水不足になっていたり、ゲリラ豪雨による水害も発生していますが、これから秋にかけて想定外の台風が来ないことを祈るばかりです。

編集・発行 社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

地域センター本部・上野
〒518-0869
伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ３階
TEL:0595(21)5866／FAX:0595(26)0002
E-mail:info@hanzou.or.jp(本部) ueno@hanzou.or.jp(上野地域センター)

地域センター阿山
〒518-1313
伊賀市馬場1128番地の1　阿山保健福祉センター
TEL:0595(43)1854／FAX:0595(43)1577
E-mail:ayama@hanzou.or.jp

地域センターいがまち
〒519-1413
伊賀市愛田513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」
TEL:0595(45)1012／FAX:0595(45)1050
E-mail:iga@hanzou.or.jp

地域センター大山田
〒518-1422
伊賀市平田656番地の1　大山田福祉センター
TEL:0595(47)0780／FAX:0595(46)1165
E-mail:ooyamada@hanzou.or.jp

地域センター島ヶ原
〒519-1711
伊賀市島ヶ原4743番地 島ヶ原老人福祉センター「清流」
TEL:0595(59)3132／FAX:0595(59)3145
E-mail:shimagahara@hanzou.or.jp

地域センター青山
〒518-0226
伊賀市阿保1988の1番地　青山福祉センター
TEL:0595(52)2999／FAX:0595(52)3555
E-mail:aoyama@hanzou.or.jp

○伊賀市社会福祉協議会ホームページ○　http://www.hanzou.or.jp/

この広報誌は、社協会費、有料広告費等により発行しております。